



## 最近の話題：社会保障改革

民主党政権時代の平成24年8月に「社会保障制度改革推進法案」が成立しました。これは野田前首相が消費税を引き上げるかわりに自民党・公明党と結んだ「3党合意」を踏まえたもので、「**社会保障制度改革国民会議**」を設置して、今後の高齢者医療制度について検討するという内容でした。先の衆議院選挙にて政権は民主党から自民党に交代した訳ですが、この「社会保障制度改革国民会議」は存続し、今年の8月に最終報告書がまとめられ、安倍首相に手渡されました。この報告書に基づいて社会保障制度改革の工程表となる「プログラム法案」の骨子が閣議決定されました。今秋の臨時国会で成立させ、年明けの通常国会に医療・介護の関連法案が提出される見込みです。その概要は以下のようになっています。医療では特例措置で**1割に据え置かれている70～**



### 社会保障プログラム法案骨子の概要

	主な項目	法案提出・実施メド
医療	70～74歳の窓口負担を2割へ	14年度以降段階実施
	高額療養費の負担上限上げ	14年度にも実施
	医療提供体制見直し※	14年通常国会に法案
	大企業健保の負担増※	15年通常国会に法案
	国保の都道府県移管※	17年度までに実施
介護	軽度者へのサービスを市町村に※	14年通常国会に法案
	高所得者の自己負担増※	
	特別養護老人ホームへの軽度者の入所制限※	
少子高齢化対策	年金支給開始年齢の引き上げ※	中長期で検討
	待機児童対策など	14年度まで

(注) ※は法律改正が必要

**74歳の窓口負担を本来の2割に戻す**ようです。実は平成20年から2割負担になることが決まっていたのですが自民党・公明党が現在まで凍結していたのです。但し**2割になるのは新たに70歳になった人から**ですので現在**1割の方には影響ありませんし、また新たに70歳になった方もそれまでの3割負担が2割になるので窓口での負担が増える方はいません**。その他、所得の高い方の1ヶ月の負担限度額の引き上げ、大企業健康保険組合の負担増、国民健康保険を市町村から都道府県に移管することなどが予定されています。また**介護では現在は一律1割負担ですが、所得に応じた負担となるよう**です。その他、特養の入居基準が介護3以上と制限されたり、支援1・2の介護度が低い方のサービスの市町村への移行が検討されています。急速な少子高齢化の進展のため改革が必要なことはわかりますが、弱い立場の方にも配慮した改革が望まれます。

## 病気の知識：肝臓の病気：③ 肝臓癌

肝臓に生じる癌には色々な種類がありますが、最も多いのは肝細胞に由来する肝細胞癌です。肝細胞癌は男性に多く、慢性肝炎や肝硬変などに合併して生じます。主な原因は肝炎ウィルスで、**C型肝炎**によるものが7～8割、**B型肝炎**によるものが1～2割を占めていますが、アルコールなどが原因の場合もあります。治療法は手術に加え、アルコールを癌に注入して固める方法やラジオ波で焼き固める方法、また血管を塞いでしまう方法など様々です。最近、**クーポン券を使って無料で肝炎ウィルス検診ができます**ので、クーポン券が届いた方は是非受診して下さい。



## 医院よりのお知らせ

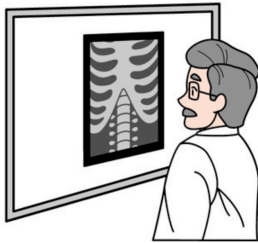
### ①インフルエンザワクチンのお知らせ

今年も早インフルエンザワクチンの季節がやって来ました。例年通り10月15日より接種を行います。ワクチンの接種料金は表の通りで例年と同額です。65歳以上の宝塚市民（あるいは西宮市等の近隣市にお住みで市役所で証明書をもらってきて下さった方）は1000円の負担金で接種を受けることができます。また60歳以上で特定の疾患をお持ちの方（身体障害1級等）の場合にも1000円で接種可能なことがあります。詳しくはご遠慮なく当院の受付にお尋ね下さい。



	お一人	お二人以上	接種回数
65歳以上（市民）	1000円/人	1000円/人	1回
13歳以上65歳未満	3500円/人	3000円/人	1回
13歳未満	3000円/人	2000円/人	2回

### ②肺がん検診再開



7・8月と休止になっていた宝塚市肺がん検診が9月より再開しました。9・10・11月の3ヶ月が検診期間となっていますので、まだお済みでない方はお早目に受診をお願い致します。40歳以上の市民が対象で、宝塚市国民健康保険加入の方や70歳以上の方、また市民税非課税世帯の方は無料です。各医療機関で撮影されたレントゲン写真は宝塚市肺がん読影委員会で専門の医師が再度チェックを行い、より精度の高い検診を目指しています。

### ③肺炎球菌ワクチン

これから寒い時期になると肺炎に罹られる方が増えてきます。特に高齢の方は肺炎になると死亡することも多いので気をつけなければなりません。肺炎の主な原因は肺炎球菌という細菌ですが、当院でも肺炎球菌のワクチンを接種していますので、持病のある高齢の方は是非受けましょう。内臓の病気で身体障害1～4級の手帳を持っている高齢の方には宝塚市の助成もあります。詳しくは窓口まで。



## 今そこにある危機：⑧ 混合診療

最近、「混合診療」という言葉をよく聞きますが、混合診療が何であるかご存知でしょうか？混合診療とは健康保険の範囲内の診療分は保険で賄い、範囲外の分は患者さんが自己負担で支払う診療で、費用が混合することを言います。日本では差額ベッド代や限られた先進医療以外は混合診療が認められていません。保険範囲外の診療を行う場合は全額患者さんの負担になる自由診療となりますので、混合診療は一見すると便利に感じられますが、実は問題が潜んでいるのです。大きな問題は混合診療を解禁すると保険で可能な診療範囲が狭まる恐れが強いことです。先進医療などを混合診療で導入すると、いつまでたっても保険が効かないままにされる恐れがあります。また実費扱いの診療分は経済的に支払えない方もできて、結果として命に格差が生じることにもなりかねません。必要で有効な治療ならば迅速に保険が使えるようにするのが行政の責任です。





# 合田外科新聞

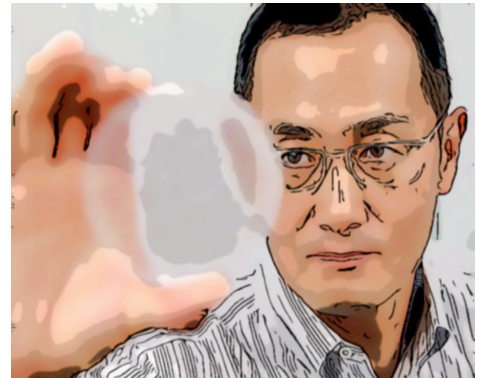
ホームページ [www.godageka.jp](http://www.godageka.jp)  
ブログ [www.kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp](http://www.kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp)

平成26年1月  
第67号  
合田外科

TEL 0797-71-2132  
FAX 0797-74-1430

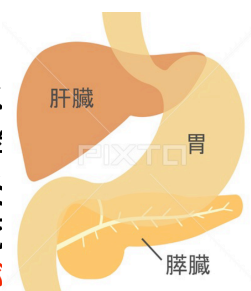
## 最近の話題：i P S細胞

i P S細胞とは人工多能性幹細胞 ( i n d u c e d P l u r i p o t e n t S t e m c e l l s ) のことで、2012年に京都大学の山中伸弥教授がノーベル賞を受賞したことにより広く世間に知れ渡ることになりました。それではこのi P S細胞は何故それほど重要なのでしょうか？実は大きな理由があるのです。人の命は母親の子宮内で受精卵という1つの細胞から始まります。この段階では細胞の役目はまだ決まっています。その後、細胞はどんどん分裂して増え、しばらくすると目の細胞や骨の細胞のように役割の決まった細胞になっていきます(分化)。そして一旦、細胞の役割が決まったらその後はもう他の細胞になることはありません。i P S細胞が画期的なのは、既に役割が決まった皮膚などの細胞に数個の遺伝子を導入するという非常に簡単な方法で細胞を生まれた頃に逆戻りさせ、様々な細胞に分化しうる細胞(幹細胞)を作り出した点にあります。これはそれまでの「一旦分化した細胞は元には戻らない」という常識を覆すもので世界に衝撃を与えました。実はこのように多くの細胞に分化できる細胞には胚性幹細胞(E S細胞= E m b r y o n i c S t e m c e l l s)と呼ばれる細胞が既に存在していましたが、E S細胞には受精卵を材料として用いなければならないという致命的な欠陥がありました。受精卵は生命の萌芽ですので、これを破壊することは倫理的に大問題で、研究は袋小路に突き当たっていたのです。i P S細胞はこのような倫理的な問題を回避できるため山中教授に引き続き世界中で研究が進められています。例えば心臓の病気を持つ患者自身の皮膚の細胞からi P S細胞を作り増殖させ、心臓の細胞として移植し治療を行えば、通常的心臓移植とは異なり拒絶反応のない治療が行えるかもしれません。また新薬開発においても、その安全性や副作用がi P S細胞から作る体の各部分の細胞を使うことで分かるのではないかとされています。日本では2014年から理化学研究所で「加齢性黄斑」という目の難病にi P S細胞を使った世界初の治療が始まる予定で期待が持たれています。



## 病気の知識：膵臓の病気：① 急性膵炎

膵臓は胃の裏側にある内臓で、蛋白質分解酵素などを出して食べ物の消化に関わっています。色々な原因で活性化された膵臓の酵素によって膵臓自身が消化される状態が急性膵炎です。急性膵炎は重症例では激しい腹痛・背部痛を生じ、多臓器不全などから死亡することもある恐ろしい病気です。アルコールが原因のことが多く、大酒後や大量に油物を食べた後に発症することもあります。特に中性脂肪の高い方はリスクが大きいと言われています。急性膵炎は血液検査をしないとなかなか判りませんので、強い腹痛の時は是非とも血液検査を受けて下さい。

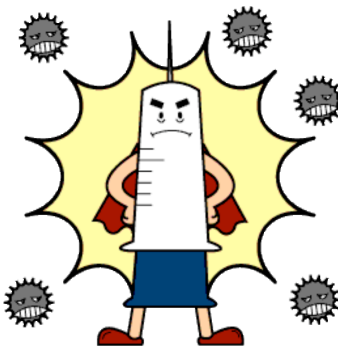


## 医院よりのお知らせ

### ①新年のご挨拶

皆様、あけましておめでとうございます。昨年は大変にご負担に頂きまして、誠にありがとうございました。今年は年男となりますので、犬馬の労を厭わず頑張るつもりです。どうか引き続き宜しくお願い申し上げます。さて、昨年は皆様にとってどのような一年間だったでしょうか？楽しいこと・嬉しいこともあれば悲しいこと・辛いこともある・・・そんな一年間だったのではないのでしょうか。色々な困難を乗り越えながらそれでも前を向いて一生懸命に歩いて行きましょう。日本の経済も少しは明るくなってきたようですが巨額の債務を考えると手放しでは喜べません。今年は消費税アップに加えて社会保障費の抑制プログラムが始まります。ギスギスした暮らしにくい社会にならないことを望みます。

### ②インフルエンザ予防接種はもう済みましたか？



インフルエンザは通常年明けから罹られる方が急速に増加し流行期に入ります。接種後に抵抗力を獲得するまで2～4週間かかりますので本来は12月初めには接種しておくべきですが、**流行期に入ってからでも予防接種が効果がある場合があります**ので、まだ接種がお済みでない方はできるだけ早く受けるようにしましょう。なお**公費によるインフルエンザワクチン接種は1月31日まで**となっておりますが、実費での接種はそれ以降でも可能です。ご希望の方は

はお気軽にご相談下さい。

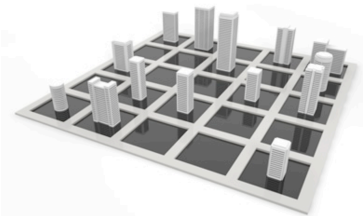
### ③自転車に乗る方は要注意！！

昨年の12月1日に改正道路交通法の一部が施行されました。今まで両方向OKであった自転車の路側帯通行が左側のみに制限され、違反者には**「3月以下の懲役か5万円以下の罰金」**が課せられるそうです。自転車で来院される方はお気を付けを。



## 今そこにある危機：⑨ 国家戦略特区

アベノミクスの成長戦略の柱となる**国家戦略特区法案**が昨年末に成立しました。戦略特区には、規制緩和や税制優遇などで民間の投資を呼び起こして経済を再生させようという狙いがありますが、実は医療にも大きな影響を及ぼします。具体的には(1)医療に**株式会社の参入**が懸念されます。株式会社は利潤を目的としていますので、医療費の高騰や不採算の地域や診療科からの撤退が起こりかねません。また(2)**保険外併用療法**の拡大もあり得ます。高所得者しか新しい医療が受けられなくなる「混合診療」の解禁につながりかねません。この戦略特区に神戸市が早くも名乗り上げています。再生医療・生体肝移植・重粒子線治療等が謳われていますが、その他に先制医療と称して**市民に医療共通番号を発行し、検体や医療情報の提供を義務付けよう**としています。個人情報筒抜けになるこのような全体主義的な計画がすぐ近くで密かに進んでいるのです。





## 最近の話題：医療と消費税

4月から消費税が5%から8%に引き上げられました。3%から5%に引き上げられたのが平成9年の4月でしたので17年ぶりのアップとなります。前回アップ時も財政危機が唱えられていましたが、当時の政府債務は名目GDPの高々83%でした。現在の債務が250%ですから当時とは比べ物にならないくらい財政状況は悪化していることとなります。事実、政府債務のGDP比率は世界中で日本が圧倒的に高く、国家が破産しかかっていたギリシャよりもずっと状況は悪いのです。高齢化に伴って年金・医療・介護などの社会保障費が年々増加していく中、財政健全化のために消費税引き上げはやむを得ないと思われれます。さてそれでは医療に関して消費税はどのような扱いになっているのでしょうか？基本的には**公的な医療保険が適用される医療においては窓口で消費税を支払う必要はありません**。これ以外にも交通事故の怪我などで「**自賠責保険**」が使われるものや仕事上の怪我などで「**労災保険**」が使われるもの、また出産時の**分娩費用**などにも消費税はかかりません。一方、それ以外の医療費用、例えば健康診断・人間ドックなどの費用、予防注射代、美容整形や歯科のインプラントなどの自由診療費用、差額ベット代、診断書作成料などには消費税がかかっています。保険診療では消費税はかかりませんが、実は医療機関が薬を仕入れたり医療機器や消耗品を購入したり検査を外注したりする場合には消費税がかかっています。消費税が上がった場合、通常の商売ならば価格に転嫁しますが保険診療では診察料を上げることによって消費税増税分を賄うことになっています。但し**今回の改定では診察料は増税分を補える程には上がっておらず、結局は医療機関の損税となってしまっています**。4月からは消費税の他、70～74歳の医療費負担が従来の1割から2割に上がります。しかし**2割負担になるのは新たに70歳に達した方からですので、現在既に1割負担の方はそのまま1割負担のまま**です。また2割になる方もそれまでは3割負担でしたので実際には医療費負担が上がる方は存在しません。ご安心下さい。



## 病気の知識：膵臓の病気：② 慢性膵炎

膵臓は食物を消化する消化酵素や血糖値を調節するホルモンを分泌していますが、繰り返し膵臓に炎症が起こり細胞が破壊され、膵臓全体が硬く委縮してしまうのが慢性膵炎です。男性、特に大酒家に多く、アルコールが原因のことが大部分です。難治性疾患であり治療法が研究されていますが根本的な治療は難しく、生活習慣の改善や対症療法が中心となります。消化吸収不良や糖尿病を引き起こすので一生つきあっていく必要がありますが慢性膵炎だけで死に至ることはありません。まずは禁煙・禁酒から始めてみましょう。



## 医院よりのお知らせ

### ①検診が始まります！！

4月より平成26年度の検診が始まります。当院では**宝塚市国民健康保険特定健康診査（メタボ検診）**と高齢者の方の**宝塚市後期高齢者健康診査**を行います。対象の方には宝塚市より案内が届きますのでお持ち下さい。またがん検診として、**肺がん検診・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診・前立腺がん検診**も行っていますので合わせて受診下さい。



検診種類	期間	対象	内容	料金
宝塚市国民健康保険特定健康診査	H26/4/1～H27/2/28	40歳～74歳の宝塚市国民健康保険加入者	身体計測・血液検査・尿検査等	無料
宝塚市後期高齢者健康診査	H26/4/1～H27/2/28	75歳以上の宝塚市民で兵庫県後期高齢者医療加入者	身体計測・血液検査・尿検査等	無料
肺がん検診	H26/4/1～H27/6/30 H26/9/1～H26/11/29	40歳以上の宝塚市民	胸部レントゲン撮影	500円
大腸がん検診	H26/4/1～H27/2/28	40歳以上の宝塚市民	検便（便潜血検査）	500円
肝炎ウイルス検診	H26/4/1～H27/2/28	40歳以上の宝塚市民で過去に肝炎検診未受診の方	血液検査（肝炎ウイルス）	1200円
前立腺がん検診	H26/4/1～H27/2/28	50歳以上の宝塚市民（男性）	血液検査（腫瘍マーカー）	1000円

（注）肺がん検診・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診は市民税非課税世帯・70歳以上・宝塚市国民健康保険加入者・生活保護世帯は無料です。また前立腺がん検診は生活保護世帯は無料です。

### ②当院へのお電話に関して

昨今、オレオレ詐欺（振り込め詐欺）が蔓延しています。単純に子供に成りすますだけではなく、架空請求詐欺や融資保証金詐欺など手口がますます進化してきています。何れも電話をかけてきて、預金口座に現金を振り込ませようとするのですが、このような詐欺電話を初め不審な電話はほぼ全て非通知となっています。この度、当院では業務に支障のある不審電話をシャットアウトするため**非通知設定の電話は受信できない**ように致しました。通常の場合は非通知に設定されている方はおられないと思われるので、ご来院の患者様にご迷惑・ご不便をおかけすることはまずないはずですが、万一当院への電話が繋がらない場合には非通知設定の有無をお確かめ下さい。



### 今そこにある危機：⑩ 医学部新設

1979年以来、医学部は長期間にわたり開設が認められてきませんでした。おそらく医師過剰による医療費の高騰を懸念したためと思われます。ところが先の東北大震災を契機として宮城県知事が復興人材養成のため東北に医学部の新設を唱え、この度、復興庁・文部科学省・厚生労働省の3省庁で「東北地方における医学部設置認可に関する基本方針」が定まりました。



これは宮城県知事が安倍首相に直談判した結果のことで、大衆受けをねらった政治的パフォーマンスです。地域医療の崩壊が懸念され医師不足が問題となっている中、一見すると医学部の新設は魅力的に思われますが実際にはどうでしょう？医学部での教育が6年間、卒業してからの研修が2年以上は必要なので医師の増加までは10年近くかかり即効性はありません。むしろ**医学部新設のため東北から医師が集められ地域医療に悪影響を及ぼす**のではと心配されています。



# 合田外科新聞

ホームページ [www.godageka.jp](http://www.godageka.jp)  
ブログ [www.kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp](http://www.kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp)

平成26年7月  
第69号  
合田外科

TEL 0797-71-2132  
FAX 0797-74-1430

## 最近の話題：高血圧の基準が変わる！？

日本人間ドック学会と健康保険組合連合会で作られる委員会が健康診断での新しい血圧の基準値を取りまとめたという報道が今年の4月にありました。これによると収縮期血圧（上の値）は147mmHgまで、拡張期血圧（下の値）は94mmHgまでは「正常」とするということが

	分類	収縮期血圧	拡張期血圧
正常域血圧	至適血圧	<120	かつ <80
	正常血圧	120-129	かつ/または 80-84
	正常高値血圧	130-139	かつ/または 85-89
高血圧	I度高血圧	140-159	かつ/または 90-99
	II度高血圧	160-179	かつ/または 100-109
	III度高血圧	≥180	かつ/または ≥110
	(孤立性)収縮期高血圧	≥140	かつ <90

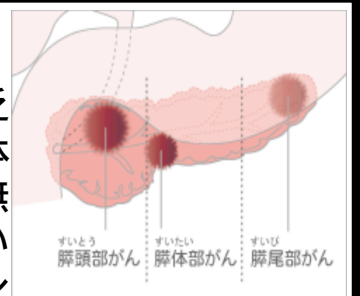
でしたが、従来の基準と大きく異なっているのが混乱が広がっています。さて真実はどうなのでしょう？今回発表された「正常」の基準値は、人間ドックを受診した人の中で5万人程度の持病がなくて検査項目で異常が見られない、いわゆる健康と思われる人の検査値を基に計算されたものです。この値自体は対象者数も極めて多く、算出方法も妥当であり信頼性が高いと考えられます。これまでは高血圧の基準は世界中で140/90mmHg以上とされており、日本でも高血圧学会が本年1月に作成した新しいガイドラインで高血圧判定基準をやはり140/90mmHg以上としています。この差はいったいどのように考えればいいのでしょうか？実はどちらも正しいと言えるのです。ポイントはいつの時点を見据えて高血圧と判断するかということです。人間ドック学会の基準はあくまで現時点での健康な人の値であり将来の状態を保証したものではありません。一方、従来の基準は多くの疫学データに基づいて、どのくらいの血圧の人が将来どのような病気を生じるか、どのくらいの血圧なら大丈夫かという観点で考えられています。血管はゴムホースのようなものですので多少圧力をかけても直ちにどうこうということはありませんが、長い期間圧力をかけ続けると傷んで遂には破裂してしまいます。血管が破裂する代表的な病気は脳出血です。今は例え健康でも将来はどうでしょう？

象者数も極めて多く、算出方法も妥当であり信頼性が高いと考えられます。これまでは高血圧の基準は世界中で140/90mmHg以上とされており、日本でも高血圧学会が本年1月に作成した新しいガイドラインで高血圧判定基準をやはり140/90mmHg以上としています。この差はいったいどのように考えればいいのでしょうか？実はどちらも正しいと言えるのです。ポイントはいつの時点を見据えて高血圧と判断するかということです。人間ドック学会の基準はあくまで現時点での健康な人の値であり将来の状態を保証したものではありません。一方、従来の基準は多くの疫学データに基づいて、どのくらいの血圧の人が将来どのような病気を生じるか、どのくらいの血圧なら大丈夫かという観点で考えられています。血管はゴムホースのようなものですので多少圧力をかけても直ちにどうこうということはありませんが、長い期間圧力をかけ続けると傷んで遂には破裂してしまいます。血管が破裂する代表的な病気は脳出血です。今は例え健康でも将来はどうでしょう？

高血圧学会の基準	人間ドックの“新基準案”
「将来病気になるリスク」を重視	“極めて健康な人”の範囲
	↓
	“将来の健康”は保証しない

## 病気の知識：膵臓の病気：③ 膵臓癌

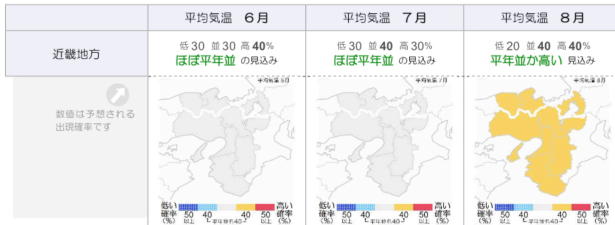
膵臓癌は年間2万人以上が罹患していますが、自覚症状に乏しく早期発見の難しい癌です。進行すると腹痛・背部痛や体重減少、黄疸などが出現してくることもありますが、全く無症状の場合も少なくありません。また膵臓がインスリンという血糖値を下げるホルモンを分泌しているため、ホルモンの分泌に異常をきたし糖尿病を発症する人もいます。喫煙する方、糖尿病や慢性膵炎の方は膵臓癌になり易いと言われておりますので注意が必要です。治療は手術が第一選択ですが、難しい場合も多く、抗癌剤や放射線治療もよく行われます。



# 医院よりのお知らせ

## ①熱中症に気をつけましょう！！

大阪管区气象台の発表によると、今年の夏にはエルニーニョ現象が発生する可能性が高く、太平洋高気圧が日本の南海上で平年より強い為、気温は平年並か高いと見込まれているそうです。さて、これからの暑い時期に気をつけなければならないのが「**熱中症**」です。熱中症は気温が高い時や激しい運動などで体内にたくさんの熱が発生すると起こり易いのですが、時には**屋内でじっとしていても起こることがあります**。閉め切った部屋で夏の暑い最中にクーラーをかけずにじっとしているだけで熱中症になってお亡くなりになった方もいるので、ゆめゆめ油断は禁物です。症状は軽い場合には手足の筋肉に痛みを伴う痙攣が生じる位ですが、ひどくなると目眩・頭痛・嘔吐などが起こったり、極端な場合には意識をなくして死亡することもあります。**しっかりと水分を摂ったり冷房をいれて室温を下げるのが大切です**。



ゆめゆめ油断は禁物です。症状は軽い場合には手足の筋肉に痛みを伴う痙攣が生じる位ですが、ひどくなると目眩・頭痛・嘔吐などが起こったり、極端な場合には意識をなくして死亡することもあります。**しっかりと水分を摂ったり冷房をいれて室温を下げるのが大切です**。

## ②非通知設定電話に関して（再掲）

昨今、迷惑・詐欺電話が急増しています。当院にもこのような電話が多く、診療の妨げとなっています。これらの電話は殆どが非通知設定ですので、当院ではNTTに依頼し、**非通知設定の電話は繋がらないようにしてあります**。ご了承願います。



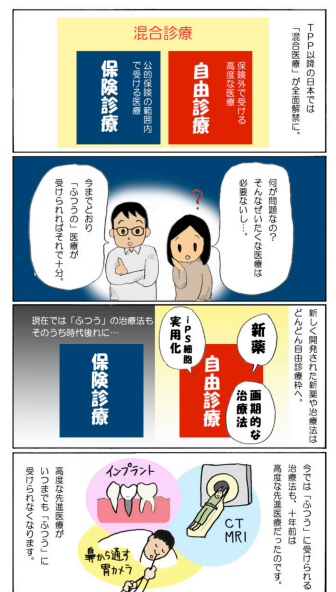
## ③お盆休みに関して

8月のお盆休みは例年どおり、**8月13日（水）～15日（金）**の3日間の予定です。ご来院の皆様にはご不便をおかけ致しますがご了承願います。

日	月	火	水	木	金	土
8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16
休診	診療	診療	休診	休診	休診	診療

## 今そこにある危機：⑪ 患者申出療養

政府の規制改革会議が第2次答申を取りまとめました。この中に「**患者申出療養**」という仕組みの医療が盛り込まれています。これは病気を患う患者からの申出を基に、国内未承認薬や適応外の医薬品を従来よりも迅速に保険診療と併用できるようにする制度ということですが、**混合診療**のことです。以前より評価療養として一部の先進医療は限られた施設で混合診療として行われてきました。これを大幅に拡充し、全国の多くの病院・診療所で行うというものですが、有効性や安全性の不確かな医療が広まって災禍を招いたり、あるいは有用な医療がいつまでたっても保険に入らないのではないかなど懸念はつきません。（右図はネット上に掲載されていた漫画ですが混合診療の懸念が分りやすく描かれています。）







# 合田外科新聞

ホームページ www.godageka.jp  
ブログ www.kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp

平成26年10月  
第70号  
合田外科

TEL 0797-71-2132  
FAX 0797-74-1430

## 最近の話題：高齢者肺炎球菌予防接種

肺炎は細菌やウィルスなどが体に入り込んで起こる肺の炎症で日本人の死因の第3位を占めています。症状としては発熱・咳・痰・息苦しさ・胸の痛みなどがあげられます。肺炎の原因となる細菌やウィルスは人の体や日常生活の場に存在しており、体の抵抗力（免疫力）が弱まった時などに感染を起こし易く、普段は元気に暮らしている方でも持病の悪化や体調不良などをきっかけに発病する可能性があります。肺炎にかからないためには、①日常の感染予防を行うこと（うがい・手洗い・マスクの着用・歯磨きなどで口腔内を清潔に保つ・誤嚥を防ぐ）、②体の免疫力を高めること、③予防接種を受けることなどが大切です。予防接種としては日常でかかる肺炎の原因菌で最も多い「肺炎球菌」に対するワクチン接種が行われています。高齢者には23価肺炎球菌多糖体ワクチンが接種されますが、このワクチンは1回の接種で肺炎球菌の23種類の型に対して免疫をつけることができます。現在90種類以上の肺炎球菌の型が報告されていますがこの23種類の型で成人の肺炎球菌による感染症の80%以上がカバーできています。さて2014年10月より高齢者に対する肺炎球菌ワクチンが定期接種化され、宝塚市より助成がおりるようになりました。従来より大幅に割安で接種できますので対象の方は是非受けるようにしましょう。詳細は下記の通りです。

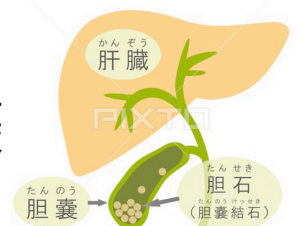


接種期間（今年度）：平成26年10月1日～平成27年3月31日  
 接種対象者：平成26年度に65・70・75・80・85・90  
 95・100歳になる方で今まで肺炎球菌ワクチンを  
 接種したことがない方  
 接種費用：4000円

対象の方には市からクーポン券が届きますのでお持ち下さい。上記の年齢以外の方は来年度以降にクーポン券の対象となります。クーポン券は接種期間が過ぎると無効になり実費8000円がかかりますのでご注意ください。

## 病気の知識：胆嚢の病気：①胆石症

胆嚢の病気で最もポピュラーなものが胆石症です。すなわち胆嚢に石（結石）ができる病気です。肝臓では胆汁という消化液が作られ、胆嚢で濃縮されてから消化管に分泌されます。この胆汁が固まったものが胆石です。胆石があっても無症状のことも多いのですが、時に胆石発作として強い腹痛・発熱・黄疸などが生じることもあり高齢者では命にかかわることもあります。胆石は超音波検査でよく分かりますので腹痛がある場合にはまず超音波検査を受けましょう。症状がある場合には手術が必要ですが、最近では腹腔鏡を用いた侵襲の低い手術が殆どです。



## 医院よりのお知らせ

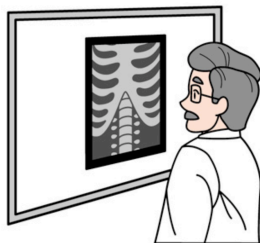
### ①インフルエンザワクチンのお知らせ

今年もインフルエンザワクチンの季節がやって来ました。例年通り**10月15日**より接種を行います。ワクチンの接種料金は表の通りで例年と同額です。**65歳以上の宝塚市民（あるいは西宮市等の近隣市にお住りで市役所で証明書をもらって下さった方）は1000円の負担金で接種を受けることができます。**また60歳以上で特定の疾患をお持ちの方（身体障害1級等）の場合にも1000円で接種可能な場合があります。詳しくは当院の受付にてお尋ね下さい。



	お一人	お二人以上	接種回数
65歳以上（市民）	1000円/人	1000円/人	1回
13歳以上65歳未満	3500円/人	3000円/人	1回
13歳未満	3000円/人	2000円/人	2回

### ②肺がん検診再開



7・8月と休止していた宝塚市肺がん検診が9月より再開しました。**9・10・11月の3ヶ月が検診期間**となっていますので、まだお済みでない方はお早目に受診をお願い致します。40歳以上の市民が対象で、**宝塚市国民健康保険加入の方や70歳以上の方、また市民税非課税世帯の方は無料で受けることができます。**各医療機関で撮影されたレントゲン写真は宝塚市肺がん読影委員会で専門の医師が再度チェックを行い、より正確な検診が行えるようになっています。

### ③当院へのお電話に関して（再々掲）

昨今、オレオレ詐欺（振り込め詐欺）をはじめ不審な電話が多く、業務に支障を来すようになっていました。このような電話はほぼ全て非通知となっていますので、当院ではNTTに依頼し、**非通知発信の電話は着信できない**ようにしてあります。ご面倒ですが万一当院への電話が繋がらない場合には非通知設定の有無をお確かめ下さい。



## 今そこにある危機：⑫ エボラ出血熱

最近、新聞などで「エボラ出血熱」という言葉をよく見かけます。遠いアフリカで流行っている奇病という趣ですが、いったいどんな病気でしょうか？この病気は**エボラウィルス**による感染症です。1976年、スーダンで初めて発生し、以後小規模の流行を繰り返してきました。この病気にかかると発熱・頭痛・腹痛などが生じますが**最終的には体のあらゆる部位からの出血が止まらなくなり、死亡率は90%に達します。**確立した治療法は存在しません。これまではあまりに死亡率が高いため他人に感染する前に患者はほぼ全て死に絶えてしまい、大きく広がることはありませんでした。しかし今年の初めからの流行では感染が拡大しています。アフリカの現地は医療水準も十分ではなく、感染がコントロールできなくなっているのです。今後、米軍が投入される予定であり、国連でも安全保障理事会が対応に当たっていますが予断を許しません。無事に終息すればいいのですが・・・。

